

秋 田 県

土木工事共通仕様書

令和 2 年 1 0 月 1 日以降適用

写真管理基準

【 土 木 編 】

赤字：秋田県独自項目

青字：今回改訂部分

(R2.10.1改訂)

— 表紙 (裏) 空欄 —

写真管理基準【土木編】

1. 総 則

1-1 適用範囲

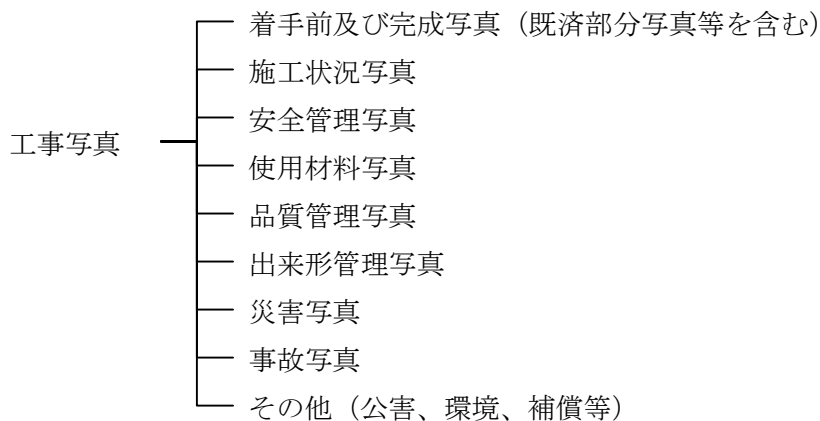
この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準【土木編】」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法

⑥略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2－3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（路面切削工編）（案）」、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）（案）」、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（固結工（スラリー攪拌工）編）（案）」、「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2－4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- （1）品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- （2）出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- （3）監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

ただし、不可視となる出来形部分については、工事完了後明確に確認できるよう出来形管理写真を撮影するものとする。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 写真の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。(100 万画素程度～300 万画素程度＝1,200×900 程度～2,000×1,500 程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps 程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 撮影の留意事項

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の撮影については、動画等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管

秋田県土木工事共通仕様書[R2.10.1 適用]

■秋田県独自項目

理基準（案）」による。

4. その他

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。

秋田県土木工事共通仕様書[R2.10.1 適用]

別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準(案)【土木編】」

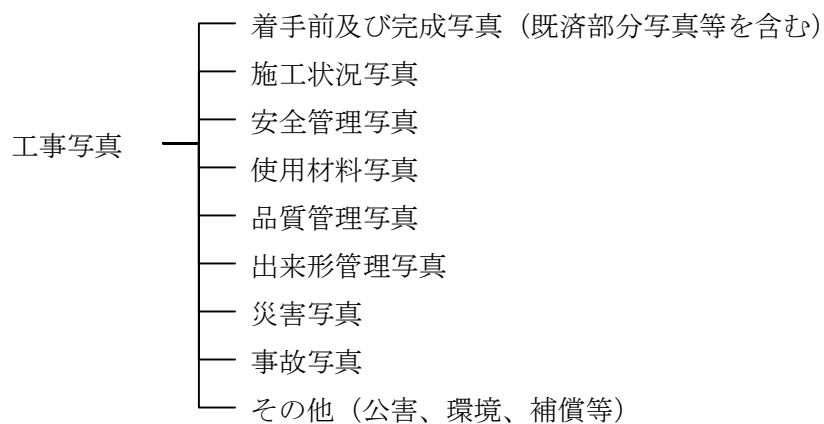
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、写真管理基準【土木編】の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写しこむものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法
- ⑥略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮

秋田県土木工事共通仕様書[R2.10.1 適用]

影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「[施工履歴データを用いた出来形管理要領（路面切削工編）（案）](#)」、「[施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）（案）](#)」、「[施工履歴データを用いた出来形管理要領（固結工（スラリー攪拌工）編）（案）](#)」、「[3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）](#)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- （1）品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- （2）出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- （3）監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

2-5 写真の仕様

写真の色彩や大きさは以下のとおりとする

- （1）写真はカラーとする。
- （2）写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督職員が指示するも

秋田県土木工事共通仕様書[R2.10.1 適用]

のは、その指示した大きさとする。

2-6 留意事項

写真管理基準【土木編】の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合には、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、動画等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認出来るよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準【土木編】の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

(1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

(2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真管理基準【土木編】の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版又はA4版とする。

4. その他

写真管理基準【土木編】撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。

— 空白 —

写真管理基準 撮影箇所一覧表

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回[着手前]	着手前1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回[完成後]	施工完了後1枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回[月末]	適宜	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工している事が確認できるように適宜[施工中]	適宜	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜[施工中]	適宜	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回[施工前後]	代表箇所1枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて[発生時] ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、撮影毎に1回〔発生時〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に1回〔発生時〕	適宜 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納） ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザ	工事打合せ簿に添付する。

写真管理基準 撮影箇所一覧表

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
				ースキャナ ーを用いた 出来形管理 要領（土工 編）（案）」 、「無人航空 機搭載型レ ーザースキ ャナーを用 いた出来形 管理要領（土 工編）（案）」 、「地上移動 体搭載型レ ーザースキ ャナーを用 いた出来形 管理要領（土 工編）（案）」 による場合 は、代表箇所 各 1 枚	
安全 管理	安全管理	各種標識類の 設置状況	各種類毎に 1 回[設置後]	適宜	
		各種保安施設の 設置状況	各種類毎に 1 回[設置後]		
		監視員交通 整理状況	各 1 回[作業中]		
		安全訓練等の実施 状況	実施毎に 1 回[実施中]	適宜	実施状況資料に添付する。
使用 材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に 1 回[使用前]	適宜	品質証明に添付する。
		品質証明 （JIS マーク表示）	各品目毎に 1 回		
		検査実施状況	各品目毎に 1 回[検査時]		
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	

写真管理基準 撮影箇所一覧表

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督職員と協議事項	適宜	
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 [被災前] [被災直後] [被災後]	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	適宜	発生前付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	適宜	
	環境対策イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎に 1 回 [設置後]	適宜	

— 空白 —

撮影箇所一覧表（出来形管理・品質管理）

○出来形管理

1	共通編.....	- 12 -
2	土木工事共通編.....	- 12 -
3	河川編.....	- 50 -
4	河川海岸編.....	- 54 -
5	砂防編.....	- 57 -
6	ダム編.....	- 59 -
7	道路編.....	- 61 -
8	公園緑地編.....	- 68 -
9	下水道編.....	- 93 -
10	その他.....	- 94 -

○品質管理.....	- 97 -
------------	--------

— 空白 —

1 共通編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	・ 出来映えの撮影 ・ TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						法長 ※次のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕		
							「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	・ 出来映えの撮影 ・ TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械が変わる毎に1回〔締固め時〕		
						法長 幅 ※次のいずれかで撮影する。	200m又は1施行箇所に1回 〔施工後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕		
							「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120m又は1 施行箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上がり状況 厚さ	120m又は1 施工箇所 に 1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各 1 枚	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						法長 ※次のいずれかで撮影する。	200 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、 「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、 「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1 工事に1回 〔掘削後〕		
							「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械が変わる毎に1回〔締固め時〕		
						法長 幅 ※次のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回〔施工後〕		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工 （盛土工）	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	
1 共通編	3 無筋・鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）	代表箇所 各1枚	
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	3 無筋・鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験(電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所 各1枚 〔試験種別毎〕	

2 土木工事共通編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	4		矢板工 (任意施設除く) (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう矢板)	根入長	40m又は1施工箇所1回 〔打込前後〕	代表箇所各1枚	
						変位	40m又は1施工箇所1回 〔打込後〕		
						数量	全数量〔打込後〕		
3	2	3	5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	適宜	
3	2	3	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所1回〔施工後〕	適宜	
3	2	3	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※ 基礎幅 ※ 基礎高さ	1施工箇所1回 (※印は現場打ち部分がある場合)〔施工後〕	適宜	
						パイプ取付高	1施工箇所1回 〔施工後〕		
3	2	3	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※ 基礎幅 ※ 基礎高さ ※ 配筋状況	1施工箇所1回 (※印は現場打ち部分がある場合)〔施工後〕	適宜	
						ビーム取付高	1施工箇所1回 〔施工後〕		
3	2	3	8	2	路側防護柵工 (ガードケール)	※ 基礎幅 ※ 基礎高さ ※ 基礎延長	1施工箇所1回(※印は現場打ち部分がある場合)〔施工後〕	適宜	
						ケール取付高	1施工箇所1回 〔施工後〕		
3	2	3	9		区画線工	材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	10		道路附属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	適宜	
3	2	3	11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各 1 枚	
						ケレン状況 (塗替)	部材別〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に 1 回〔塗装後〕		
3	2	3	12	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	断面の外形 寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	全数量〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	3	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形 寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	全数量〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	3	13		ポストテンション桁製作工	シー、P C 鋼材配置状況	桁毎に 1 回〔打設前〕	代表箇所 各 1 枚	
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1 スパンに 1 回 〔施工時〕		
3	2	3	14	1	プレキャストセグメント製作工(購入工)	断面の外形寸法	1 スパンに 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	14	2	プレキャストセメント主桁組立工	組立状況	1 スパンに 1 回〔組立時〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	3	15		P C 部スラブ製作工	シース、P C 鋼材配置状況	桁毎に 1 回〔打設前〕	代表箇所各 1 枚	
						幅厚さ	桁毎に 1 回〔型枠取外し後〕		
						中詰め及びクラウ状況	1 スパンに 1 回〔施工時〕		
3	2	3	16	1	P C 箱桁製作工	シース、P C 鋼材配置状況	桁毎に 1 回〔打設前〕	代表箇所各 1 枚	
						幅(上)幅(下)高さ	桁毎に 1 回〔型枠取外し後〕		
						内空幅内空高さ	桁毎に 1 回〔型枠設置後〕		
						中詰め及びクラウ状況	1 スパンに 1 回〔施工時〕		
3	2	3	16	2	P C 押出し箱桁製作工	シース、P C 鋼材配置状況	桁毎に 1 回〔打設前〕	代表箇所各 1 枚	
						幅(上)幅(下)高さ	桁毎に 1 回〔型枠取外し後〕		
						内空幅内空高さ	桁毎に 1 回〔型枠設置後〕		
						中詰め及びクラウ状況	1 スパンに 1 回〔施工時〕		
3	2	3	17		根固めブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所各 1 枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に 1 回〔製作後〕		
3	2	3	18		沈床工	格子寸法厚さ割石状況幅	4 0 m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	19		捨石工	幅	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	22		階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回〔設置後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	24	2	伸縮装置工 (鋼フィンガージョイント)	設置状況	1スパンに1回〔設置後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り) (巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長	120m又は1施工箇所に1回〔施工後〕		
3	2	3	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	27	2	羽口工 (ふとんかご) (かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						※ 幅 ※ 高さ	200m又は1施工箇所に1回 (※印は場所打ちのある場合) 〔埋戻し前〕		
3	2	3	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	適宜	
3	2	3	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
3	2	3	29	3	暗渠工	幅 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	適宜	
3	2	3	30		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	適宜	
3	2	3	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		
3	2	4	1	1	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均コンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	4	3	1	基礎工（護岸） （現場打）	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	3	2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	4		既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所各1枚	
						根入長	1施工箇所に1回 〔打込前〕		
						数量	全数量〔打込後〕		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
3	2	4	5		場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕		
						数量、杭径	全数量〔打込後〕		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
						鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔組立後〕		
3	2	4	6		深礎工	根入長	全数量〔掘削後〕	代表箇所各1枚	
						偏心量数量、基礎径	全数量〔施工後〕		
						ライフプレート 設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕		
						土質	土質が変わる毎に1回 〔掘削中〕		
						鉄筋組立状況	全数量〔組立後〕		
3	2	4	7		オープンケelson基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕	全枚数	
						ケelsonの長さ ケelsonの幅 ケelsonの高さ ケelsonの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート打 設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	4	8		ニューマチックケーソン 基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕	全枚数	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回〔設置後及び型 枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート打 設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3	2	4	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕	全枚数	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
3	2	5	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張)	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ (ブロック積張)	200m又は1施工箇所1回		
3	2	5	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所各1枚	
3	2	5	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	5	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
3	2	5	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況			
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	1,000 m ² に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔修正後〕		
						幅	各層 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔修正後〕		
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔修正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400 0 m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上型レーザ ースキャナーを用いた出来形管 理要領(舗装工事編)(案)」、「地 上移動体搭載型レーザースカ ャナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する場 合は各層毎 1 工事に 1 回〔整 正後〕		
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方 式)を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート、プライ ムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミルク 注入状況	400mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3	2	6	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
3	2	6	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
3	2	6	9	5	排水性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3	2	6	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎 80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	11	1	ゲーススファルト舗装工 (加熱スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	11	2	ゲーススファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3	2	6	11	3	ゲーススファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
						平坦性	1 工事に 1 回 〔実施中〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕※コアを採取した場合は写真不要		
						厚さ	1, 0 0 0 m ² に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所各 1 枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	8 0 mに1 回 〔散布時〕	代表箇所各1 枚	
						スリップパター、タイ パター寸法、位置	8 0 mに1 回 〔据付後〕		
						鉄鋼寸法位置	8 0 mに1 回 〔据付後〕		
						平坦性	1 工事に1 回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎2 0 0 mに1 回 〔型枠据付後〕 ただし、「T S等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「 地上移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形管理 要領(舗装工事編)(案)」、「 T S(ノンプリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する場 合は各層毎1 工事に1 回〔整 正後〕		
						目地段差	1 工事に1 回		
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1 回 〔施工中〕	代表箇所各1 枚	
						転圧状況	各層毎400mに1 回 〔施工中〕		
						厚さ	各層毎2 0 0 mに1 回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「 地上移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形管理 要領(舗装工事編)(案)」、「 T S(ノンプリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する場 合は各層毎1 工事に1 回〔整 正後〕		
						幅	各層毎8 0 mに1 回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「 地上移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形管 理要領(舗装工事編)(案)」、「 T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回〔修正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回〔修正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 セメント(石灰・瀝青) 安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000 m ² に 1 回〔整正後〕※ア を採取した場合は写真不要 ただし、「T S 等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「 地上移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形管理 要領(舗装工事編)(案)」、「 T S (ノンプリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する場 合は各層毎 1 工事に 1 回〔整 正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、 「T S (ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装 工事編)(案)」による場合は 各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所各 1 枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザ ースキャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、 「T S (ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装 工事編)(案)」による場合は 各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所各1枚	
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕		
						縦そり突合わせ目地部・縦そり ダミー目地部タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕		
						目地段差	1工事に1回		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 m に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	1,000 m ² に 1 回〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔散布時〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	2	6	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	2	6	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回〔整正後〕※ア を採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔散布時〕		
						幅	各層毎 8 0 m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3	2	6	15		路面切削工	幅 厚さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	6	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	6	17		オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
						タックコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
						整正状況	400m に 1 回 〔施工後〕		
3	2	7	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	4 0 m に 1 回〔施工後〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	7	3		置換工	置換厚さ 幅	4 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	7	6		サンドマット	施工厚さ 幅	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	7	7		パーチカルトレン (サントトレン工) (ペーパートレン工) (袋詰式サントトレン工) 締固め改良工 (サントコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	2 0 0 m ² 又は1 施工箇所 に 1 回 〔打込み前後〕	代表箇所各 1 枚	
			8			杭径 位置・間隔	2 0 0 m ² 又は1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
3	2	7	9	1	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰バイル工)	位置・間隔 杭径	1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕	代表箇所各 1 枚	
						深度	1 施工箇所 に 1 回 〔打込前後〕		
							ただし、(スラリー攪拌工)において、「施工履歴データを用いた出来形管理要領(固結工(スラリー攪拌工)編)(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ～4,000m ³ につき1 回、又は施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につき1 回 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「施工履歴データを用いた出来形管理要領(表層安定処理等・中層地盤改良工事編)(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	代表箇所各 1 枚	
3	2	10	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕	代表箇所各 1 枚	
						数量	全数量〔打込後〕		
3	2	10	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1 施工箇所 に 1 回 〔削孔後〕	代表箇所各 1 枚	
						配置誤差	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	10	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所各1枚	
3	2	10	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	9		地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	10		地中連続壁工(柱列 式)	連続の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	12	1	1	casting 費 (金属支承工)	製作状況	適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚	
3	2	12	1	2	casting 費 (大型ゴム支承工)	製作状況	適宜〔制作中〕	代表箇所 各1枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	12	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	代表箇所各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1 施工箇所に 1 回〔仮組立時〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	12	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合) ※シミュレーション仮組立検査も含む	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	代表箇所各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔仮組立時〕		
3	2	12	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	代表箇所各 1 枚	
						製作状況	適宜〔制作中〕		
3	2	12	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 基に 1 回又は 1 工事に 1 回〔仮組立時〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	12	4		検査路製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	代表箇所各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
3	2	12	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	代表箇所各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔仮組立時〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編 編	章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	8		アンカーフレーム製 作工	仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕	代表箇所 各 1 枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	9		プレビーム用桁製作 工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各 1 枚	
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎 1 スパンに 1 回 〔塗装後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	13 橋梁 架設 工	1		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1 回〔架 設中〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	14	2	1	植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生 マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1 工事に 1 回〔混合前〕	代表箇所各 1 枚	
						土羽土の厚さ	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工中〕		
						法長	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		
3	2	14	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔清掃後〕	代表箇所各 1 枚	
						ラス鉄鋼の重ね寸法	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹付前〕		
						厚さ(検測孔)	2 0 0 m ² 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹付後〕		
						法長	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		
						材料使用量	1 工事に 1 回〔混合前〕		
3	2	14	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔清掃後〕	代表箇所各 1 枚	
						ラス鉄鋼の重ね合せ寸法	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹付前〕		
						法長	2 0 0 m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		
						厚さ(検測孔)	2 0 0 m ² 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹付後〕		
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 幅 高さ 吹付枠中心間隔	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	代表箇所各 1 枚	
3	2	14	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所各 1 枚	
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さ 配置誤差	1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	15	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕		
						厚さ 幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	15	3		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (シールドスタイルを用いた補強土工法)	高さ 鉛直度	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	15	4		井桁ﾌﾟﾛｯｸ工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						法長 厚さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3	2	16	1		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (ｸﾗﾌﾞ 船) (ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ浚渫船)	運転状況	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
3	2	18	1		床版工	厚さ 幅 鉄筋の有効 高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1 スパンに 1 回 〔打設前後〕	代表箇所 各 1 枚	

3 河川編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	1 築堤・護岸工	10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	1 施工箇所 1 回 〔打込み前〕	代表箇所 各 1 枚	
						幅 方向	1 施工箇所 1 回 〔施工後〕		
6 河川編	1 築堤・護岸工	13 光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	100m又は1 施工箇所 1 回	適宜	
6 河川編	1 築堤・護岸工	13 光ケーブル	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1 施工箇所 1 回	適宜	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	1	函渠工 (本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1 施工箇所 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (P C 管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鉄管)	据付状況	120m又は1 施工箇所 1 回 〔巻立前〕	適宜	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	4 水門	6 水門 本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	4 水門	9 鋼管 管理橋上 部部工	10	1	支承工 (鋼製支承)	支承取付状況	1 スパンに 1 回 〔取付後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	4 水門	9 鋼管 管理橋上 部部工	10	2	支承工 (ゴム支承)	支承取付状況	1 スパンに 1 回 〔取付後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	4 水門	1 2 橋梁 附属物工 (鋼管 管理橋)	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1 施工箇所 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川編	4 水門	1 2 橋梁 附属物工 (鋼管 管理橋)	5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1 施工箇所 1 回	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川 編	4 水門	12 橋梁付属物工（鋼管理橋）	7		検査路工	幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川 編	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		閘門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
6 河川 編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
6 河川 編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	測定箇所毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川 編	5 堰	9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 胸壁の高さ 天端長 敷長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川 編	6 排水 機場	4 機場 本体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
6 河川 編	6 排水 機場	4 機場 本体工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	適宜	
6 河川 編	6 排水 機場	5 沈砂池工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6	河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6	1	本体工(床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
6	河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚
6	河川編	7 床止め・床固め	5 床固め	6		側壁工	天端幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚

4 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	5		場所打ちコンクリート工	幅 高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状寸 法 据付状況	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕 200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状寸 法 据付状況	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕 200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	5		コンクリート被覆工	法長 厚さ 裏込材厚	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕 4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被 覆工	2		コンクリート被覆工	幅 厚さ 基礎厚	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕 4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	幅 高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基 礎工	4		捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤基 礎工	5		吸出し防止工	幅	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所 に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕		
						天端幅	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	9		石枠工	厚さ 高さ	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						間詰石状況	1施工箇所に1回〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	10		場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	1	ケーソン工(ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング 高さ	1基毎に1回〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所に1回〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	3	ケーソン工(突堤上部工) (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)	厚さ 幅	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基毎に1回〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所に1回〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工		3	セルラー工(突堤上部工) (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)	厚さ 幅	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
7	河川	2 突堤・人工岬	6 根固め工	2	捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕	代表箇所 各1 枚	
7	河川	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3	根固めブロック工	数量 ブロックの形状寸法	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1 回〔製作後〕	代表箇所 各1 枚	
7	河川	2 突堤・人工岬	7 消波工	3	消波ブロック工	数量 ブロックの形状寸法	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1 回〔製作後〕	代表箇所 各1 枚	
7	河川	3 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）	3 海域堤防基礎工	3	捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕	代表箇所 各1 枚	

5 砂防編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影項目	提出頻度	
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4 5		コンクリート堰堤本体工 コンクリート副堰堤工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回〔施工中〕	各月1枚	
						打継目処理 打込・養生	4リフト毎に1回	代表箇所 各1枚	
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5 1		鋼製堰堤本体工 (不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5 2		鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影項目	提出頻度	
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1 施工箇所 to 1 回 〔型枠取外し後〕	適宜	
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1 施工箇所 to 1 回 〔施工後〕	適宜	
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1 施工箇所 to 1 回 〔施工後〕	適宜	
8 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	偏心量	1 施工箇所 to 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
						数量	全数量〔打込後〕		

6 ダム編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天端幅 ジョイント 間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (水叩)	ジョイント 間隔 幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
						打継目処理	奇数ブロック毎に岩着部 中間リフトに1回		
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム (副ダム)	ジョイント 間隔 リフト高さ 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム (導流壁)	ジョイント 間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	5		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	6		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	7		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム(洪水吐)	ジョイント 間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
					ボーリング	ボーリング状況 水押テスト状 況 グラウト状況 深度 配置誤差 コア	ブロック毎に1回 〔施工中〕 地質変化毎全数量 〔抜取後〕	適宜	

7 道路編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路 編	1 道路 改良	3 現場 製作 工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	9 カル バ― ト工	6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	1 0 0 m又は 1 施工箇所に 1 回〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	4		落石防止網工	幅	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	5		落石防止柵工	高さ	200m又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	1 0 0 m又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回(施 工前は必要に応じて)〔施工前 後〕	適宜	
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	2 舗装	4 舗装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400mに 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						転圧状況	各層毎 400mに 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 2 0 0 mに 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 8 0 mに 1 回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
10 道 路 編	2 舗 装	5 排 水 構 造 物 工 (路 面 排 水 工)	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	適宜	
10 道 路 編	2 舗 装	7 踏 掛 版 工	4		踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ			
						<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長			
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	1	大型標識工(標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回〔施工後〕	適宜	
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	2	大型標識工(標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	適宜	
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	適宜	
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	6		照明工(照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路 編	3 橋梁 下部	3 工場 製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I 型) (T 型)	幅 高さ 長さ	全数量〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I 型) (T 型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1 回〔架 設中〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1 回〔架 設中〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき 間	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	4 鋼橋 上部工	3 工場 製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道 路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	1 施工箇所 1 回 〔削孔後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道 路 編	5 コン クリ ート 橋 上 部	6 プレ ビーム 桁 製作 工	6		プレビーム桁製作工 (現場)	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
						幅 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外し後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支 保 工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	
						湧水状況	適宜〔掘削中〕		
						吹付面の清掃 状況	4 0 m 毎に 1 回 〔清掃後〕		
						金網の重合せ 状況	4 0 m 毎に 1 回 〔2 次吹付前〕		
						吹付け厚さ (検測孔)	4 0 m 毎に 1 回 〔吹付後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支 保 工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は 8 0 m に 1 断面 〔穿孔中〕	代表箇所 各 1 枚	
						ロックボルト 注入状況	施工パターン毎又は 8 0 m に 1 断面 〔注入中〕		
						ロックボルト 打設後の状況	施工パターン毎又は 8 0 m に 1 断面 〔打設後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	3 4		覆工コンクリート工 側壁コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1 センترلに 1 回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各 1 枚	
						覆工 (厚さ)	1 センترلに 1 回 〔型枠取外し後〕		
						幅 高さ	200 m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	5		床版コンクリート	幅 厚さ	200 m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	6 イン パ ー ト 工	4		インパート工	インパート (厚さ)	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	
						幅(全幅) 高さ(内法)	200 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	4		坑門本体工	幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各 1 枚	
						覆工 (厚さ)	4 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		
						幅(全幅) 高さ(内法)	200 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	1 0 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1 施工箇所 に 1 回 〔設置後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 ち 構 築 工	5	1	防水工 (防水)	幅	1 0 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	2	防水工 (防水保護工)	厚さ	1 0 0 m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	3	防水工 (防水壁)	高さ 幅 厚さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路 編	11 共同 溝	7 プレ キャスト 構築工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電線 共同 溝	5 電線 共同 溝工	2		管路工 (管路部)	敷設状況	100m又は1施工箇所に1回 〔敷設後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電線 共同 溝	5 電線 共同 溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電線 共同 溝	5 電線 共同 溝工	4		現場打ちボックス工 (特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電線 共同 溝	6 付帯 設備工	2		ハンドボール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	適宜	
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗装 工	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗装 工	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況 厚さ	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
10 道路 編	16 道路 修繕	3 工場 製作工	4		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸歩 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道 路 編	16 道 路 修 繕	22 橋 梁 付 属 物 工	4		落橋防止装置工	長さ、径、材質 アンカーボルトの削 孔長	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔材料搬入時〕 1 施工箇所 1 回〔削孔後〕	代表箇所 各 1 枚	
						出来ばえ	適宜 〔施工中〕		

8 公園緑地編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	2	1	表土掘削	土質等の判断	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	
						幅 深さ 法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回〔掘削後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	3	1	公園整地	仕上げ状況 仕上げ厚	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	4	1 2 3	掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	土質等の判断	地質が変わる毎に 1 回〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	
						法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔掘削後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	5	1	盛土（流用土）	巻出厚	200m に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔巻出中〕	代表箇所 各 1 枚	
				2	盛土（発生土）	締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に 1 回〔締固め時〕		
				3 4	盛土（採取土） 盛土（購入土）	幅 法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	6	1	路体（築堤）盛土	巻出厚	200m に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔巻出中〕	代表箇所 各 1 枚	
				2	路床盛土	締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に 1 回〔締固め時〕		
						幅 法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	7	2	法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	8	1	安定処理	仕上げ状況 厚さ	40m に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	9	1	置換	置換厚さ 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	10	1	サンドマット	施工厚さ 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は 施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	1 1 2 3	1	サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	打込長さ 施工状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔打込前後・施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						杭径 位置・間隔	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	3	1	開渠排水	高さ 幅	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔埋 戻し前〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	3	2	暗渠排水	高さ 幅 長さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工前・施工後・施工中〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	4	1 2 3 4	普通耕 深耕 混層耕 心土破碎	幅 深さ 施工状況	耕耘タイプ毎に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工前・施工後・施工中〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	5	1 2 3 4	土性改良 中和剤施用 除塩 施肥	幅 深さ 施工状況	施肥配合タイプ毎に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工前・施工後・施工中〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	6	1 2 3 4	表土盛土（流用表土） 表土盛土（発生表土） 表土盛土（採取表土） 表土盛土（購入表土）	巻出厚	200m に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔巻出中〕	適宜	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に 1 回〔締固め時〕		
						幅 法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工後〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	7	4	人工地盤排水層	高さ 幅 厚さ 長さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔埋 戻し前〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	7	5 6	フィルター 防根シート	高さ 幅 厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔埋 戻し前〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	7	8	立排水浸透柵	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に 1 回〔型枠取外し 後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	5 植栽 基盤 工	8	1 2	表面仕上げ 築山	仕上げ状況	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回 〔仕上げ中・施工中〕	100m 又は 1 施工箇所に 1 回	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	3	1	法面ネット		第1編 3-14-4-2 法枠工(プレキャスト法枠工)に準ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	4	1	種子散布	材料使用量	1 工事につき 1 回〔混合前〕	代表箇所 各 1 枚	
				4	植生シート				
				5	植生マット				
				6	公園種子帯	土羽土の厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工中〕		
				7	公園張芝				
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	4	8	公園筋芝			代表箇所 各 1 枚	
				9	公園市松芝	法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工後〕		
				10	人工張芝				
				11	植生穴				
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	4	2	客土吹付	清掃状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔清掃後〕	代表箇所 各 1 枚	
				3	植生基材吹付	ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹 付前〕		
						厚さ（検測孔）	200 m ² 又は 1 施工箇所に 1 回〔吹 付後〕		
						法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工後〕		
						材料使用量	1 工事に 1 回〔混合前〕		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	5	1 4	現場打法枠 吹付枠		第1編 3-14-4-1 法枠工（現場打 法枠工）（現場吹付法枠工）に準 ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	5	2 3	プレキャスト法枠 金属製法枠		第1編 3-14-4-2 法枠工（プレキ ャスト法枠工）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	6	1	編柵	高さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	7	1	じゃかご		第1編 3-3-27-1 羽口工(じゃこ ご)に準ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	7	2	ふとんかご		第1編 3-3-27-1 羽口工（ふとん かご、かご枠）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	7 軽量 盛土工	2	1 2 3 4 5	軽量盛土 コンクリート床版 基礎コンクリート 壁体 裏込砕石		第1編 2-4-3 路体盛土工に準ず る。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	8 擁壁 工	4	1	小型擁壁		第1編 3-15-1 場所打擁壁工に準ずる。		
				2	重力式擁壁				
				3	もたれ式擁壁				
				4	逆T型擁壁				
				5	L型擁壁				
				6	鉄筋				
				7	裏込砕石				
				8	止水板				
				13	コンクリート				
				14	型枠				
				15	足場				
				16	目地板				
				17	水抜パイプ				
				18	吸出し防止材				
				9	基礎材		第1編 3-4-1 一般事項（砕石基礎工）（均しコンクリート）に準ずる。		
				11	均しコンクリート				
				10	公園基礎材	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回 〔施工後〕	適宜	
				5	1 プレキャスト擁壁		第1編 3-14-4-1 法枠工（現場打法枠工）（現場吹付法枠工）に準ずる。		
				6	1 補強土壁基礎 2 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 3 ジオテキスタイル補強土壁		第1編 3-3-4 盛土補強工に準ずる。		
				7	1 コンクリートブロック基礎 2 コンクリートブロック積 3 間知ブロック張 4 平ブロック張 5 連節ブロック張 7 緑化ブロック積 8 ブロック植栽 9 天端コンクリート 10 小口止コンクリート		第1編 3-5-3-1～4 コンクリートブロック工に準ずる。		
				8	1 崩れ積	胴込裏込厚	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						法長又は高さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		
				8	2 面積 3 玉石積 4 小端積 5 こぶだし石積 6 切石積 7 間知石積 8 雑割石積 9 雑石積 10 割石積 11 雑割石張 12 雑石張り		第1編 3-5-3-5 石積（張）工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	8 擁壁 工	9	1	土留め	基礎工 基礎幅 根入れ長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工前・施工後〕	適宜	
						高さ 延長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施 工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	9 公園 カル パート 工	4	1 2 7 8 9 7 8 9 10	函渠 鉄筋 コンクリート 型枠 足場 支保 目地板 止水板 水抜パイプ		第 6 編 1-9-6 場所打函渠工に準 ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	9 公園 カル パート 工	5	1	プレキャストボックス		第 1 編 3-3-28 プレキャストカル パート工に準ずる。		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	10 公園 施設等 撤去・ 移設工	3	1	遊具移設	設置高さ	1 回／1 基〔施工後〕	適宜	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施 工前・施工後〕（施工前は必要に 応じて）		
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	10 公園 施設等 撤去・ 移設工	3	2	小工作物移設	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施 工前・施工後〕（施工前は必要に 応じて）	適宜	
11 公園 緑地 編	1 基盤 整備	10 公園 施設等 撤去・ 移設工	3	3	景石移設	施工状況	5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	3	1	高木植栽 高木植栽 （支柱有・幹巻有） 高木植栽 （支柱有・幹巻無）	①植穴	径 深さ	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜
				2		②樹木	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
				3		③支柱	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
						④客土 ⑤施肥 ⑥土壌改良材	施工状況 材 料 の 使 用 量 （ 空 袋 ）	樹種別、規格別に1回 〔施工中・施工後〕	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	6	1	地被類植栽	施工状況	樹種別、規格毎に1回 〔施工後〕		
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	7	1	草花種子散布 草花植生マット	材料使用量	種子別又は1工事につ き1回〔混合前〕	代表箇所 各1枚	
						厚さ	種子別又は1工事につ き1回 又 は 施 工 面 積 1,600m ² 毎に1回〔施 工中〕		
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	8	1	播種	①種子	播種状況	種子別1回〔施工中〕	適宜
						②肥料 ③養生材	施工状況 材 料 の 使 用 量 （ 空 袋 ）	種子別1回〔施工中・ 施工後〕	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	9	1	花壇植栽	施工状況	花壇植栽別1回〔施工 後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	1	防風ネット	支柱の高さ 延長	120m 又は1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	2	寒冷紗巻き	施工状況	樹種別1回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	3	植穴透水層	厚さ 幅 長さ	樹種別1回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	4	空気管	施工状況	樹種別1回〔施工後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	8	養生柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
						高さ 延長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	10	9	支柱設置	施工状況	樹種別、規格毎に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	11	1	埋込型樹名板	基礎高 基礎幅	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	11	2	幹巻型樹名板	施工状況	樹種別 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	12	1	根囲い保護	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽工	14	1 2 3	壁面緑化フェンス 壁面緑化パネル 登はん補助資材	施工状況	1 施工箇所（タイプ毎）に 1 回〔施工中・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	4 移設工	3	1	高中木根回し	根回し状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	4 移設工	4	1	高木移植	①樹木	施工状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	適宜
						②支柱	施工状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	
11 公園 緑地 編	2 植栽	4 移植工	5	1 2 3 4	根株移植 根株運搬 特殊機械掘取 特殊機械運搬	施工状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	4 移植工	6	1	中低木移植	①樹木	施工状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	適宜
						②支柱	施工状況	樹種別、規格別に 1 回〔施工後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	2 植栽	4 移植工	7	1 2	地被類移植 地被類運搬	施工状況	樹種別、規格別に 1 回 〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	5 樹木整姿工	3	1 2 3	基本剪定 軽剪定 機械剪定	施工状況	樹種別、規格毎に 1 回 〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	5 樹木整姿工	4	1 2	手刈 機械刈	施工状況	樹種別、規格毎に 1 回 〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	5 樹木整姿工	5	1	樹勢回復	施工状況	樹種別 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	5 樹木整姿工	5	2	樹木回復	施工状況	修復方法別に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設整備	3 給水設備工	3	1 2 3 4 5	メーターボックス 止水栓 止水栓ボックス 不凍水栓 ボックス類高さ調整	据付状況	5 箇所に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設整備	3 給水設備工	6	3	ドリップパイプ	高さ 据付状況	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔埋戻し前〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設整備	3 給水設備工	6	4 5	散水栓 散水栓ボックス	据付状況	5 箇所に 1 回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設整備	3 給水設備工	8	1	給水施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設整備	3 給水設備工	10	1 3	給水管 埋設シート	高さ 据付状況	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔埋戻し前〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	3 給水 設備 工	10	2	埋設標	据付状況	5箇所にて1回〔施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	6	1 3 4 5 6 7 8	L型側溝 管(函)渠型側溝 プレキャストU型側溝 プレキャスト皿形側溝 コルゲートリウム 自由勾配側溝 特殊円形側溝		第1編3-3-29-1側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝)(自由勾配側溝)に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	6	2	現場打L型側溝	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回〔型枠取外後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	6	9	現場打側溝	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回〔型枠取外後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	6	10	公園素掘側溝	高さ 幅	120m又は1施工箇所に1回〔埋戻し前〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	6	12	側溝高さ調整	施工状況	1施工箇所に1回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	7	1 2	公園管渠 コルゲートパイプ		第1編3-3-29-1側溝工 (管渠)に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	8	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	街渠樹 集水樹 浸透樹 プレキャスト街渠樹 プレキャスト集水樹 塩化ビニル製樹 マンホール プレキャストマンホール 公園マンホール 浸透マンホール		第1編3-3-30集水樹工 に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	8	11 12	樹高さ調整 マンホール高さ調整	施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	9	1 2 3	透水コンクリート管 化学繊維管 地下排水		第 1 編 3-3-29-3 暗渠工に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	4 雨水 排水 設備 工	10	1 2	現場打水路工 プレキャスト水路工		第 1 編 3-3-29-2 場所打水路工に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	3	1	ハンドホール		第 1 編 3-12-5-2 ケーブル配管工（ハンドホール）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	3	2	ハンドホール高さ調整	施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	3	3 4	引込柱 分電盤	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 51 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	3	5	分電盤高さ調整	施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	3	6	照明灯基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕（施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	4	4	スピーカー柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕（施工前は必要に応じて）	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	5	3	監視カメラ柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 (施工前は必要に応じて)	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	6 電気 設備 工	6	1	電気設備修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容 毎）に 1 回〔施工前・ 施工中・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	5	1 2	下層路盤 上層路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	5	4 6	基層 表層	整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	6	1 2	下層路盤 上層路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	6	3 4	基層 表層	整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	7	2	路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚			
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕				
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕				
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕				
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	7	3	表層	整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚			
						タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕				
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡に 1 回〔整正後〕				
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	8	1	公園アスファルト舗装 公園アスファルト舗装薄層カラー舗装 透水性アスファルト舗装 脱色アスファルト舗装	路盤工	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 500 ㎡ に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚		
				2			整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 500 ㎡ に 1 回〔整正後〕			
				3			厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 500 ㎡ に 1 回〔整正後〕			
				4			幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 500 ㎡ に 1 回〔整正後〕			
						表層工	整正（敷設）状況	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 500 ㎡ に 1 回〔整正後〕			
							タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布後〕			
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	14	11	飛石	砕石基礎 厚さ	1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	16		コンクリート縁石 現場打縁石 駒止めブロック 舗装止め 擬石縁石 レンガ縁石 木縁石 見切材（仕切材） 石材縁石 縁石高さ調整		第 1 編 3-3-5 縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。				
11 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	17	1 2 3	溶融式区画線 ペイント式区画線 区画線消去		第 1 編 3-3-9 区画線工に準ずる。				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	18	1 2 3 4 5	コンクリート階段 コンクリートブロック階段 丸太階段 擬木階段 石材階段	幅 高さ 長さ 段数	1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	18	6	階段高さ調整	施工助教	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	19	1 4 6	公園橋橋台 石橋橋台 木橋橋台	幅 厚さ 高さ	全数量〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	19	2 3 5 7 8	公園橋設置 ハッ橋 石橋設置 木橋設置 浮き桟橋	幅 高さ 長さ	1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	20	1 2	デッキ基礎 デッキ設置	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 (施工前は必要に応じて)	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	7 園路 広場 整備 工	23	1	植樹ブロック		第 1 編 3-3-5 縁石工(縁石・アスカーブ) に準ずる。		
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 修景 施設 整備 工	3	1 2	石組 景石	施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 修景 施設 整備 工	4	1	つくばい 井筒 灯籠 石塔 擬岩造形	施工状況	5箇所にて1回〔施工後〕	適宜	
				2					
				3					
				4					
				5					
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 修景 施設 整備 工	5	1	袖垣 垣根	高さ 延長	120m 又は 1 施工箇所 にて 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
				2					
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 修景 施設 整備 工	7	1	トレリス 緑化フェンス	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
				2		高さ 延長			
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 園路 広場 整備 工	9	1	流れ	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 園路 広場 整備 工	9	2	滝	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 園路 広場 整備 工	9	3	池	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	8 園路 広場 整備 工	9	4	州浜	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	3 施設整備	8 園路広場整備工	9	5	壁泉	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	3 施設整備	8 園路広場整備工	9	6	カスケード	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	3 施設整備	8 園路広場整備工	9	7	カナル	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	3 施設整備	8 園路広場整備工	10	1	修景施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	9 遊戯施設整備工	3	1	ブランコ ジャングルジム 滑台 シーソー 鉄棒 ラダー はん登棒 スプリング遊具 複合遊具 アスレチック遊具 健康遊具施設	設置高さ	1 回／1 基〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕（施工前は必要に応じて）		
11 公園緑地編	3 施設整備	9 遊具施設整備工	4	1	砂場	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	3 施設整備	9 遊戯施設整備工	4	2	現場打遊具	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	3 施設整備	9 遊戯施設整備工	4	3	徒渉池	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	3 施設整備	9 遊戯施設整備工	5	1	遊具施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	10 サービス施設整備工	3	1	時計台	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	10 サービス施設整備工	4	1	水飲み場	設置高さ	1 回／1 基〔施工後〕	適宜	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）		
11 公園緑地編	3 施設整備	10 サービス施設整備工	5	1 2 3 4 5	ベンチ 縁台 テーブル スツール 野外卓	設置高さ	1 回／1 基〔施工後〕	適宜	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）		
11 公園緑地編	3 施設整備	10 サービス施設整備工	8	1	炊事場	設置高さ	1 回／1 基〔施工後〕	適宜	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
11 公園緑地編	3 施設整備	10 サービス施設整備工	10	1	サービス施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	3	1	リサイクル施設基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	5	1 2	くず入れ 吸殻入れ	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	6	1	さく井	施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	代表箇所 各 1 枚			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	6	2	手押しポンプ	基礎高 基礎幅 根入れ長	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	7	1 2 3	門壁 門柱 門扉	基礎高 基礎幅 根入れ長	1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	適宜			
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	8	1	フェンス	基礎高 基礎幅 根入れ長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工前・施工後〕	代表箇所 各 1 枚			
				2	柵						
				3	手すり	高さ 延長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕				
				4	転落（横断）防止柵						
				5	ガードレール						
				6	ガードケーブル						
				7	ガードパイプ						

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	9	1 2 3	車止め 車止めポスト 車椅子ゲート	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 (施工前は必要に応じて)	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	14	1	管理施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	12 建築施設組立設置工	3	1	四阿基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕 (施工前は必要に応じて)	適宜	
11 公園緑地編	3 施設整備	12 建築施設組立設置工	15	1	建築施設修繕	施工状況	1 施工箇所(修繕内容毎)に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート整備工	4	1 2 3	下層路盤 上層路盤 中層	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔整正後〕		
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート整備工	4	4	基層	整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
						タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に 1 回〔整正後〕		
						抜取りコア厚さ	全数量〔抜取り後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	3 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備 工	4	5	クレー舗装 アンツーカー舗装 天然芝舗装 グラウンド・コート砂舗装 グラウンド・コートガス舗装	路 盤 工	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚
				6			整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
				11			厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
				12			幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
						表 層 工	整正（施工）状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	3 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備 工	4	8	人工芝舗装 全天候型舗装（樹脂系） 全天候型舗装（アスフ ルト系）	路 盤 工	敷均し厚 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚
				9			整正状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
				10			厚さ	各層毎 200m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
							幅	各層毎 80m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
						表 層 工	整正（施工）状況	各層毎 400m に 1 回 又は施工面積 1,000 ㎡毎に 1 回〔整正後〕	
							タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕	
							抜き取りコア厚さ	全数量〔抜き取り後〕	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	3 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備 工	5	1 2 3 4	コンクリート縁石 舗装止め 見切材（仕切材） 内圍縁石			第 1 編 3-3-5 縁石工（縁 石・アスカーブ）に準 ずる。	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	4 ス タ ン ド 整 備 工	3	1	スタンド擁壁	幅 高さ 厚さ 法長	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	4 スタンド整備工	4	1 2	スタンドベンチ 現場打ベンチ	幅 高さ 厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	4 スタンド整備項	5	1	スタンド施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	5 グラウンド・コート施設整備工	3	1	ダグアウト基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕（施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	5 グラウンド・コート施設整備工	5	1	バックネット基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回〔施工前・施工後〕（施工前は必要に応じて）	適宜	
						高さ 延長	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	5 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 施 整 備 工	6	1 2 3 4 5 6 7	ファールポール ポスト ゴールポスト 支柱台 スポーツサークル 跳躍箱 踏切板	設置高さ	1回／1基〔施工後〕	適宜	
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じ て）		
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	5 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 施 整 備 工	6	1 3	塁ベース基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じ て）	適宜	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	5 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 施 整 備 工	11	1 2 3	高尺ネットフェンス フェンス 防球ネット	基礎高 基礎幅 根入れ長	120m 又は1施工箇所に 1回〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	
11 公園 緑地 編	4 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	5 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 施 整 備 工	12	1	グラウンド・コート施 設修繕	施工状況	1施工箇所（修繕内容 毎）に1回〔施工前・ 施工中・施工後〕	適宜	

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	3	1	蒔き出し	蒔き出し厚	200m に 1 回 又は施工面積 1,600 ㎡毎に 1 回〔蒔き出し 時〕	代表箇所 各 1 枚	
						蒔き出し状況	転圧機械又は地質が変 わる毎に 1 回〔蒔き出 し時〕		
						幅 法長	200m に 1 回又は 1 施 工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 ㎡毎に 1 回〔施工後〕		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	4	1	遮水・止水シート	幅 高さ	40m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工状況・施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	4	3 4	ごろた石積 崩れ積	胴込裏込厚	第 1 編 3-5-3-5 石積(張 工に準ずる〔施工中〕		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	4	5	砂・礫敷	法長又は高さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
						厚さ 幅	200m に 1 回 又は施工面積 1,600 ㎡毎に 1 回		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	5	1	遮水・止水シート	高さ	1 施工箇所に 1 回〔施工 状況・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	6	1	ガレ山	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	7	1	粗朶山	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工 中・施工後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	8	1	カントリーヘッジ	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	9	1	石積土堰堤工	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に 1 回〔施工中・施工後〕	適宜	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	10	1	しがらみ柵	高さ 幅	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	11	3 4	階段ブロック積 魚巢ブロック積		第 1 編 3-5-3-1 コンクリートブロック工に準ずる。		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	11	5 6 8	石積 石張 雑割石張		第 1 編 3-5-3-5 石積(張)工に準ずる。		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	11	9	かごマット		第 1 編 3-3-26-2 多自然型護岸工(かごマット)に準ずる。		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	11	11	玉石階段	長又は高さ 幅 高さ 長さ 段数	100m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	11	17 18 19 20	種子散布 公園張芝 公園筋芝 公園市松芝	材料使用量	1 工事につき 1 回〔混合前〕	代表箇所 各 1 回	
						土羽土の厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回〔施工中〕		
						法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	11	21 22 23 24	覆土（流用土） 覆土（発生土） 覆土（採取土） 覆土（購入度）		第1編 4-3-5 法面整形工（盛土部）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	12	1	保護柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
						高さ 延長	120m 又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	13	1	解説板	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回〔施工前・施工後〕 （施工前は必要に応じて）	適宜	
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	14	1	自然育成施設修繕	施工状況	1施工箇所（修繕内容毎）に1回〔施工前・施工中・施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	16	1	現場打基礎		第1編 3-4-3-1 基礎工（護岸）（現場打）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	16	2	プレキャスト基礎		第1編 3-4-3-2 基礎工（護岸）（プレキャスト）に準ずる。		
11 公園 緑地 編	5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	17	1 2 3 4 5 6 7	木工沈床 改良沈床 粗朶沈床 袋詰玉石 吸出し防止材 粗朶単床 粗朶柵		第1編 3-3-18 沈床工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	18	1 2 3	捨石 表面均し 吸出し防止材		第1編 3-3-19 捨石工に準ずる。		
11 公園緑地編	5 自然育成	2 自然育成施設工	22	1	杭出し水制		第2編 1-10-8 杭出し水制工に準ずる。		
11 公園緑地編	5 自然育成	3 自然育成植栽工	4	1	水性植物植栽	施工状況	樹種別 1 回〔施工後〕	適宜	

9 下水道編

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	7 管きよ更正工	3		管きよ内面被覆工 (反転・形成工法)	前処理工	1 施工箇所に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	最新版 の「管 きよ更 正工法 におけ る設 計・施 工管理 ガイド ライン (案)」 に準拠 して実 施す る。
						挿入状況 (引込作業状 況、圧力管理状 況等)	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						硬化状況 (圧力管理状 況、温度管理状 況)	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						管口硬化収縮 状況 (内径測定状 況)	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工中〕		
						本管管口切断 状況	適宜 〔施工中〕		
						取付管管口せ ん孔状況	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						更生管口仕上 がり状況 (施工前、後)	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工後〕		
						更生管仕上 がり厚さ (ノギスで測定)	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工後〕		
						更生管仕上 がり内径	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工後：硬化直後、 硬化後 24 時間以降〕		
						取付管口仕上 がり状況	1 スパン毎、かつ 5 箇所に付き 1 箇所〔施工後〕		
12 下水道編	1 管路	7 管きよ更正工	3		管きよ内面被覆工 (製管工法)	前処理工	1 施工箇所に 1 回〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	最新版 の「管 きよ更 正工法 におけ る設 計・施 工管理 ガイド ライン (案)」 に準拠 して実 施す る。
						製管作業状況	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						充てん剤注入 作業状況	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						本管管口切断 状況	適宜 〔施工中〕		
						管口状況(仕上 がり内径測定 状況)	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工中〕		
						取付管管口せ ん孔状況	管径毎に 1 回 〔施工中〕		
						更生管口仕上 がり状況(施 工前、後)	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工後〕		
						更生管仕上 がり内径寸法測 定	1 スパン毎に上下流各 1 回 〔施工後〕		
						取付管口仕上 がり状況	1 スパン毎、かつ 5 箇所に付き 1 箇所〔施工後〕		

10 その他

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1 施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚		
					ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	1 0 0 m又は1 施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	適宜		
						仮締切(土石)	巻出し厚	1 0 0 m又は1 施工箇所に1回〔巻出し時〕	適宜		
					転圧状況		転圧機械が変わる毎に1回〔締固時〕				
						仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ	1 0 0 m又は1 施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	適宜		
						基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎に1回〔施工中〕	適宜		
					土質、岩質		土質、岩質変わる毎に1回〔掘削中〕				
					岩盤清掃状況		1 施工箇所に1回〔清掃前後〕				
						堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に1回〔施工中〕	適宜		
					打継目処理、打込養生		8 リフト毎に1回〔施工中〕				
						堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて4 リフト毎に1回〔据付後〕	適宜		
						堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて4 リフト毎に1回〔据付後〕	適宜		
						堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5 リフト毎に1回〔据付後〕	適宜		
						堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1 施工箇所に1回〔据付後〕	適宜		
					トンネル工関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1 施工箇所に1回〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚		
						トンネル(矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回〔掘削中〕	代表箇所各1枚		
					湧水状況		適宜〔掘削中〕				
					埋設支保工(建込間隔、寸法、基数)		1 0 0 m又は1 施工箇所に1回〔建込後〕				
							湧水処理工設置状況	全数量〔設置後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
その他					トンネル (矢板工法)	集水渠(幅、高さ、位置)	100m又は1施工箇所に1回〔設置後〕	代表箇所各1枚	
						地下排水工(管接合据付状況)			
						地下排水工(フィルター厚さ)	100m又は1施工箇所に1回〔投入前後〕		
						矢板設置状況	岩質の変わる毎に1回〔設置後〕		
						グラウト材料使用量	全数量〔使用前後〕		
					シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に1回〔掘削中〕	代表箇所各1枚	
						セグメント組立状況	1工事に1回〔組立後〕		
						二次覆工(セグメント清掃状況)	1工事に1回〔清掃後〕		
						二次覆工の厚さ	1スパンに1回〔型枠取外し後〕		
				維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	
					コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回〔施工前後〕	適宜	
						目地充填	3,000㎡に1回〔施工後〕		
						注入工、削孔状況、(位置、間隔)	2,000 に1回〔削孔後〕		
						注入工、注入圧	2,000㎡ に1回〔注入時〕		
						目地亀裂防止材、張付け状況	3,000㎡に1回〔張付け後〕		
						局部打換各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所に1回〔施工前後〕		
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
					道路除草	出来ばえ	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	
					路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	適宜	
					新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書(写真撮影箇所)】

編	章	節	条	枝番		工種	写真管理項目			摘要		
							撮影項目	撮影頻度〔時期〕			提出頻度	
その他						維持修繕工関係	新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回 (施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜		
							視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回 〔施工後〕	適宜		
							清掃(路面、標識、側溝、集水桝)	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜		
							区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜		
						材料使用量		全数量〔施工前後〕				
							街路樹植樹	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
							街路樹補強補植	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
							街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕	適宜		
							街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工中〕	適宜		
							街路樹雪囲	出来ばえ	適宜〔施工後〕	適宜		
							排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回〔施工中〕	適宜		
							凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回〔施工中〕	適宜		
						材料使用料		全数量〔施工前後〕				
							河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	適宜		
							応急処置	処理の状況	その都度〔施工前後〕	適宜		
							鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所 に1回〔組立後〕	適宜	
								コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回 〔施工時〕	1施工ブロック各1枚	
								養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回 〔養生時〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1	セメント・コンクリート（転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く） 【施工前】	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランプ試験			
		コンクリート圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕		
		コンクリート曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕		コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕		
	コンクリートの洗い分析試験				
	【施工後】	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕		
		テストハンマーによる強度推定調査			
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた場合 〔試験実施中〕		
2	ガス圧接	外観試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観試験	検査毎に1回〔試験実施中〕	適宜	
		浸透探傷試験	試験毎に1回〔試験実施中〕		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤工	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		プルフローリング	路盤毎に1回〔試験実施中〕	適宜	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		土の液性・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		粒度			
		平板載荷試験			
		プルフローリング	路盤毎に1回(粒度調整) 〔試験実施中〕		
		土の液性・塑性限界試験	観察に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		含水比試験			

番号	工種	写真管理項目			概要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
6	アスファルト安定 処理路盤	アスファルト舗装に 準拠		適宜		
7	セメント安 定処理路盤 【施工】	粒度	各種路盤毎、配合毎に1回 〔試験実施中〕	適宜		
		現場密度の測定				
		含水比試験	観察に異常が認められた場合 〔試験実施中〕			
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕			
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種別毎に1回 〔試験実施中〕	適宜		
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
		水浸ホイールラッキング試験				
		ホイールラッキング試験				
		ラベリング試験				
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種別毎に1回 〔試験実施中〕			
		温度測定				
		外観検査				
		すべり抵抗試験				
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	適宜		
		マーシャル突き固め試験				
		ランマー突き固め試験				
		コンクリートの曲げ強度試験				
		温度測定(コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 〔温度測定中〕			
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕			
		コアによる密度測定				
10	グース A s 舗装 (プラント)	貫入試験 40℃	合材の種別毎に1回 〔試験実施中〕	適宜		
		リュエル流動性試験 240℃				
		ホイールラッキング試験				
		曲げ試験				
		粒度				
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
	グース A s 舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	適宜		
	11	路床安定処 理工	現場密度の測定	路床毎または施工箇所毎に1 回〔試験実施中〕	適宜	
プルフローリング						
平板載荷試験						
現場CBR試験			ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する。			
含水比試験				降雨後又は含水比の変化が認 められた場合 〔試験実施中〕		
たわみ量				プルフローリングの不良箇所につい て実施〔試験実施中〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕	適宜	
		現場密度の測定	材質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。		
		プルフローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	材質毎に1回		
		現場CBR試験	〔試験実施中〕		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		たわみ量	プルフローリング [*] の不良箇所について実施 〔試験実施中〕		
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
14	アンカー工	モルタルの圧縮強度試験	適宜 〔試験実施中〕	適宜	
		モルタルのフロー値試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	適宜	
16	吹付工 (施工)	塩化物量測定	配合毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
17	現場吹付法 砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		塩化物量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
18 19	河川海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	適宜	
		土の含水量試験	含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合		
20	砂防土工	河川海岸土工に準拠	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	適宜	
21	道路土工(施工)	現場密度測定	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	適宜	
		プルフローリング	工種毎に 1 回 〔試験実施中〕		
		現場 C B R 試験	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	〔試験実施中〕		
		含水量試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合		
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施〔試験実施中〕		
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			
23	コンクリートダム (材料)	アルカリ骨材試験	採取地毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に 1 回 〔試験実施中〕		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験			
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に 1 回 〔試験実施中〕		
		粗骨材の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
	コンクリートダム (施工)	骨材中の比重 1.95 の液体に浮く粒子の試験			
		練混ぜ水の水質試験			
		塩化物総量規制	配合毎に 1 回〔試験実施中〕	適宜	
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		空気量測定	〔試験実施中〕		圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に 1 回〔試験実施中〕		
		温度測定			
		コンクリートの単位容積重量試験			
		コンクリートの洗い分析試験			
		コンクリートのブリージング試験			
		コンクリートの引張強度試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
24	覆工コンクリート (NATM施工)	スランプ試験	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕	適宜	
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に 1 回〔試験実施中〕		
		塩化物総量規制			
		空気量測定	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
		コンクリートの洗い分析試験	〔試験実施中〕		
25	吹付けコンクリート(NATM) (施工)	塩化物総量規制	配合毎に 1 回〔試験実施中〕	適宜	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		空気量測定	〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長 40m ごとに 1 回		
26	ロックボルト (NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に 1 回〔試験実施中〕	適宜	
		モルタルのフロー値試験	〔試験実施中〕		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜〔試験実施中〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
27	路上再生路盤工(材料)	修正C B R試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		土の粒度試験			
		土の液性・塑性限界試験			
		土の含水比試験			
	路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕		
		土の一軸圧縮試験			
		CAEの一軸圧縮試験			
		含水比試験			
28	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
29	排水性舗装工(ﾌﾟﾗﾝﾄ)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	排水性舗装工(舗設現場)	温度測定			
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観検査			
		30			
粒度					
アスファルト量抽出粒度分析試験					
ﾌﾞﾙｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ					
温度測定					
含水比試験					
31	ﾌﾟﾗﾝﾄ再生舗装工(ﾌﾟﾗﾝﾄ)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		再生アスファルト量			
	ﾌﾟﾗﾝﾄ再生舗装工(舗設現場)	外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
32	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 〔現場照合時〕	適宜	
		在庫品切出	当初の物件で1枚 〔切出時〕※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 〔試験実施中〕		
33	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	適宜	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			

撮影箇所一覧表（品質管理）

【R2.10.1 適用 秋田県土木工事仕様書[写真撮影箇所]】

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
34	溶接工	引張試験	試験毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験			
35	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	適宜	
		土の一軸圧縮試験	材料毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
36	防雪柵工	ボルト(トルク値)	1 基礎あたり対角線上に 2 箇所。 (全数の 3 割程度)	適宜	
		ボルト (余長)			
37	管渠更正工 (反転・形成工法)	更生材の曲げ試験(短期)	試験毎に 1 回	適宜	最新版の「管きょ更正工法における設計・施工管理ガイドライン(案)」に準拠して実施する
		更生材の耐薬品性能試験			
	管渠更正工 (製管工法)	更生材の圧縮強度試験	試験毎に 1 回	適宜	
		更生材の耐薬品性能試験			

区分	番号	工種	写真管理項目			概要
			撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
土・石材	38	たたき粘土	土の粒度試験	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			土粒子の密度試験			
			土の含水試験			
			土の透水試験			
	39	土舗装材	土の粒度試験	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			土粒子の密度試験			
			土の含水試験			
			コンクリートの洗い分析試験			
	40	クレー舗装材	土の粒度試験	土質毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			土粒子の密度試験			
			土の含水試験	1,000m2 毎に 1 回 〔試験実施中〕		
			硬度（施工）			
	41	アンツーカー舗装材	含水比	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕	適宜	
			粒度			
			硬度（施工）	1,000m2 毎に 1 回 〔試験実施中〕		
	42	舗装用石材	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に 1 回	適宜	
	43	積み・張り用石材	岩石の圧縮強さ			
			岩石の形状			
	44	火山砂利	最大乾燥密度の測定	採取地毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			修正 CBR の測定			
骨材のふるい分け試験						
骨材の洗い試験						
粗骨材のすりへり試験						
骨材の安定性試験						
凍上試験						
強熱減量試験						
土の透水試験						
締固め度の測定（施工）			A 類 300 m ² 毎に 1 回 B・C 類 1,500 m ² 毎に 1 回 〔試験実施中〕			
骨材のふるい分け試験（施工）	搬入時に 1 回 観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕					
	骨材の洗い試験（施工）					
造園材料	45	客土	pH 粒度(H ₂ O)〔簡易 pH 計〕	採取地毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			有害物質 〔電気伝導度（EC メーター）〕			
	46	高木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			幹周			
			枝張			

区分	番号	工種	写真管理項目			概要
			撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
造園材料	47	中低木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			枝張			
	48	特殊樹木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			幹周			
			枝張又は尺			
	49	地被類	茎長	樹種別、規格別に 1 回 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			芽立			
木材	50	木材	木材の加圧式防腐処理方法	材料毎に 1 回 〔試験実施中〕	適宜	
			クレオソート油、加工タール、タールピッチ (特記による)			
			木材の浸漬式防腐処理方法			
			含水率			
			保存処理剤浸度試験			